

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和6年2月9日（金）10時00分～11時10分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

正岡企画調査官、佐藤室長補佐、森審査班長、石井安全審査官、

山下安全審査専門職、元嶋専門職、植木技術参与

福島第一原子力規制事務所

松沢原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当6名（テレビ会議システムによる出席）

プロジェクトマネジメント室 担当1名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき定例の報告内容に加えて、以下の説明があった。
 - 1号機燃料取扱設備及び燃料取り出し付帯設備設置に伴う実施計画の変更についての報告
- 原子力規制庁は、上記説明について事実関係の確認等を行うとともに、主に以下のコメントを伝えた。
 - 1号機燃料取扱設備及び燃料取り出し付帯設備設置に伴う実施計画の変更の件に係る申請に当たっては、以下の点についても留意すること。
 - ◇ 1号機の燃料取出しについてはSTEP1～5に分けて進めているが、今回の対象設備設置に係るSTEP上の位置づけや今後予定しているSTEPの内容等、それに伴う実施計画変更内容や申請予定時期等も含めて、全体工程等を改めて整理した上で資料に示して説明すること。
 - ◇ 本設備による作業時の使用済燃料や燃料輸送用キャスクの取扱い高さ等も含めて、一連の燃料取り出し作業の流れについて資料に示して説明すること。
 - ◇ 一昨年に認可した大型カバー換気設備設置に係る審査の際、大型カバー内に内部カバーを設置、大型カバー換気設備の設置場所や設備構成変更等を行う旨の説明があったが、今回その点を変更した経緯及び理由についても説明すること。
 - ◇ クレーンの耐震評価に関しては、現在審査中の大型廃棄物保管庫における門型クレーンと同様の観点で確認する点もあることから、当該審査における指摘事項等を参考に関連する内容を説明できるよう準備しておくこと。

6. その他

資料：

- 福島第一原子力発電所第1号機、第2号機及び第3号機の原子炉内温度計並びに原子炉格納容器内温度計の信頼性評価について（2024年2月提出）
- 循環注水冷却スケジュール

- 使用済燃料プール対策 スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備 スケジュール
- 使用済燃料プール水質状況について
- 1号機燃料取扱設備及び燃料取り出し付帯設備設置に伴う実施計画の変更についての報告

以上